

八ヶ岳東南麓 他  
遺跡分布調査報告書

1989. 3

山梨県教育委員会

八ヶ岳東南麓 他  
遺跡分布調査報告書

1989. 3.

## 序

本報告書は、八ヶ岳広域農道・富士川西部広域農道工事と身延バイパス建設工事に先立ち、予定路線内で行った試掘調査の成果をまとめたものであります。

本調査によって八ヶ岳南麓では長坂町・大泉村地内において新たな遺跡が確認されました。これらの遺跡につきましては、建設工事に先立って本格的な発掘調査を実施する計画が進められておりますが、このような遺跡の分布調査は、歴史環境の復元と埋蔵文化財の保護にとって欠くことのできないデーターを提供してくれます。遺跡分布調査を実施して本年で6年になりますが、この調査によって発見された遺跡は40箇所を越えようとしております。本センターでは今後とも基本的な調査を継続し、本県の歴史環境復元と埋蔵文化財の保護に努力していく所存ですので、関係機関のご協力をお願いいたします。

末筆ながら、種々ご協力を賜った関係機関各位、並びに直接調査に当たられた方々に厚くお礼申し上げます。

1989年3月

山梨県埋蔵文化財センター

所長 磯貝正義

## 例　　言

1. 本書は八ヶ岳広域農道、富士川西部広域農道、国道52号線身延バイパス建設工事に先立って、山梨県教育委員会が文化庁の補助を受けて実施した試掘調査及び分布調査をまとめた調査報告書である。
2. 試掘調査及び分布調査は1988年9月から調査条件が整った地区から段階的に実施し、整理作業と報告書作成は2月以降に行った。
3. 本書に掲載している遺構、遺物の実測図は柏木まつ江が作成した。
4. 本書の原稿は八巻与志夫が執筆した。
5. 写真撮影は八巻与志夫が行った。
6. 調査及び整理作業において、次の方々にご指導、ご協力を賜った。ここに記して感謝の意を表したい。  
(順不同、敬称略)

建設省甲府工事事務所、峡北土地改良事務所、身延町教育委員会、小淵沢町教育委員会、長坂町教育委員会、大泉村教育委員会、高根町教育委員会、帝京大学山梨文化財研究所、櫛形町教育委員会

## 凡　　例

1. 第1図・16図・19図で使用した地形図は、国土地理院発行の1/50,000である。
2. 掘図の方位は磁北を示す。
3. 掘図中の土層図の縮尺は1/40である。
4. 遺物写真は、主要なものに限った。
5. 土層図は各試掘坑の土層概念図である。また、土層説明は各図版の中で行った。
6. 遺物の番号は出土した試掘坑の番号である。

## 目 次

### 序

#### 例言・凡例

第Ⅰ章 調査の経緯 .....	1
第Ⅱ章 調査の概要 .....	2
1. 八ヶ岳広域農道建設予定地の試掘調査経緯 .....	2
2. 身延バイパス建設予定地の試掘調査経緯 .....	14
3. 富士川西部広域農道路線予定地内分布調査の経緯 .....	17
4. まとめ .....	19

## 挿 図 目 次

第1図 八ヶ岳広域農道試掘位置図………	1	第13図 高根町堤地内A・B・C区 試掘坑設定図…	11
第2図 小瀬沢町・大泉村地内土層図…	2	第14図 高根町堤地内A・B・C区 土層図…	12
第3図 長坂町・高根町地内C区土層図	3	第15図 高根町堤地内D区試掘坑設定図	13
第4図 長坂町大井ヶ森地内試掘坑 設定図…	4	第16図 身延バイパス試掘位置図………	14
第5図 大泉村谷戸地内試掘坑設定図…	4	第17図 身延町梅平地区試掘坑設定図…	15
第6図 大泉村地内試掘坑対象地全体図	5	第18図 身延町梅平地内試掘土層図……	16
第7図 大泉村谷戸地内試掘坑設定図…	6	第19図 富士川西部広域農道分布調査 位置図…	17
第8図 大泉村地内出土遺物拓本1	7	第20図 柳形町宮の前遺跡表採遺物…	18
第9図 大泉村地内出土遺物拓本2	8		
第10図 大泉村地内試掘土層図……………	9		
第11図 高根町地内試掘対象地全体図…	10		
第12図 大泉村谷戸地内A区1 試掘坑設定図…	11		

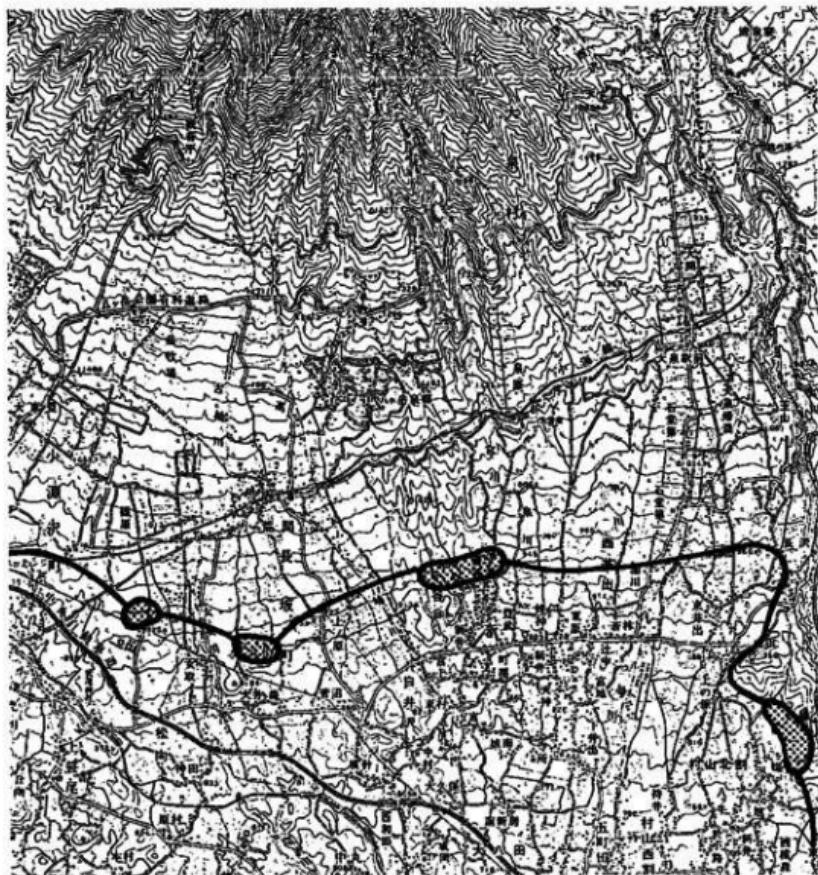
## 写 真 図 版 目 次

写真図版 1 小瀬沢町・長坂町地内	
写真図版 2 大泉村・高根町地内	
写真図版 3 高根町地内	

写真図版 4 身延町地内	
写真図版 5 身延町・柳形町地内	

## 第Ⅰ章 調査の経緯

八ヶ岳南麓を横断する広域農道設計画が進められており、1986年度には建設予定地域の一部試掘調査を含む分布調査を行ったが、用地買収が済まないと試掘調査ができない。また水田地帯や山林部分では表探が不可能のため、買収交渉が終わった場所を年次計画で試掘調査を行う計画で、駿北土地改良事務所と農務部耕地課と協議を進め、88年度から実施することとした。また、釜無川西部の農村地帯を縦断する富士川西部広域農道計画が進んでいる。この地域の道路分布調査も工事着手以前に行う計画で、今回中巨摩郡梯形町を調査対象とした。国道52号線の改良工事である身延バイパス建設計画も88年度には用地買収が一部完了したため、試掘調査を実施する予定で建設省と協議を行ってきた。



第1図 八ヶ岳広域農道試掘位置図

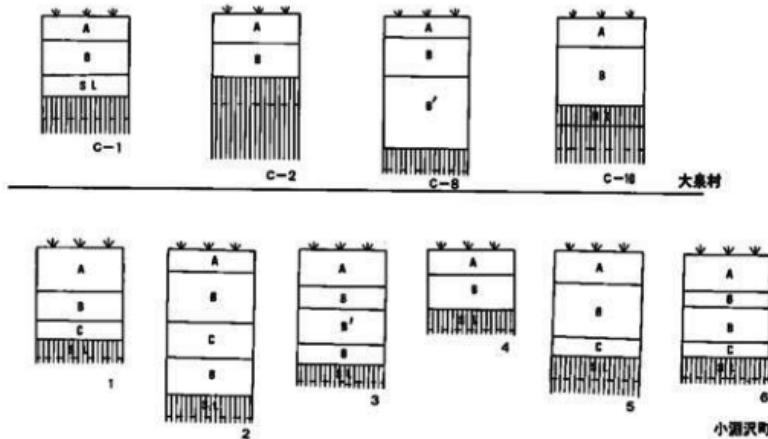
## 第 II 章 調査の概要

### 1. 八ヶ岳広域農道建設予定地の試掘調査経緯

#### ① 北巨摩郡小淵沢町地内

1988年9月から小淵沢町上篠尾地内の牧草地と山林内に、2メートル四方の試掘坑を7箇所設定して、地山まで掘り下げた。この地域は標高905メートル前後の緩やかな南傾斜面で、赤松と唐松林の中間に牧草地が広がっている。試掘対象地の東の山林には川が流れおり、試掘調査箇所は低い尾根であったと考えられる。西から北側の山林中には、新興宗教の施設と県営酪農試験場がある。

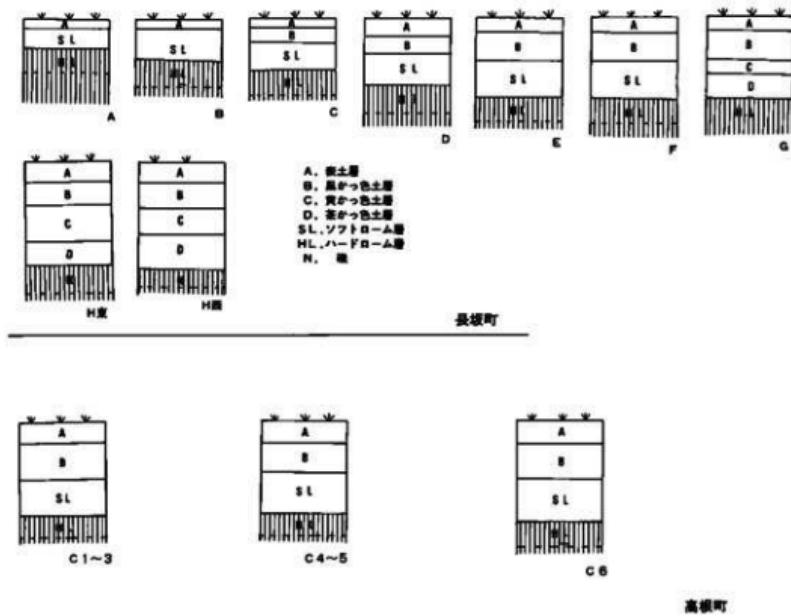
牧草地の北側の試掘坑で平安時代の甕と壺の破片が2片出土した。出土した土層は、牧草地造成で埋められた土であり、周辺に遺跡が存在していたが、客土の厚さから既に遺跡は消滅しているものと考えられる。更に北側の山林に向かっての試掘では、遺物の検出はなかった。山林中の遺跡の存在については、用地買収が完了する来年度以降に調査する必要があろう。東側の山林では、以前畑として利用されていたようであり、用地の南に隣接して方形の塹がある。更に南では縄文時代中期の土器片を表探すことができるが、路線内では検出することはなかった。以上の状況から、この路線内での本調査の必要性は認められないと判断した。



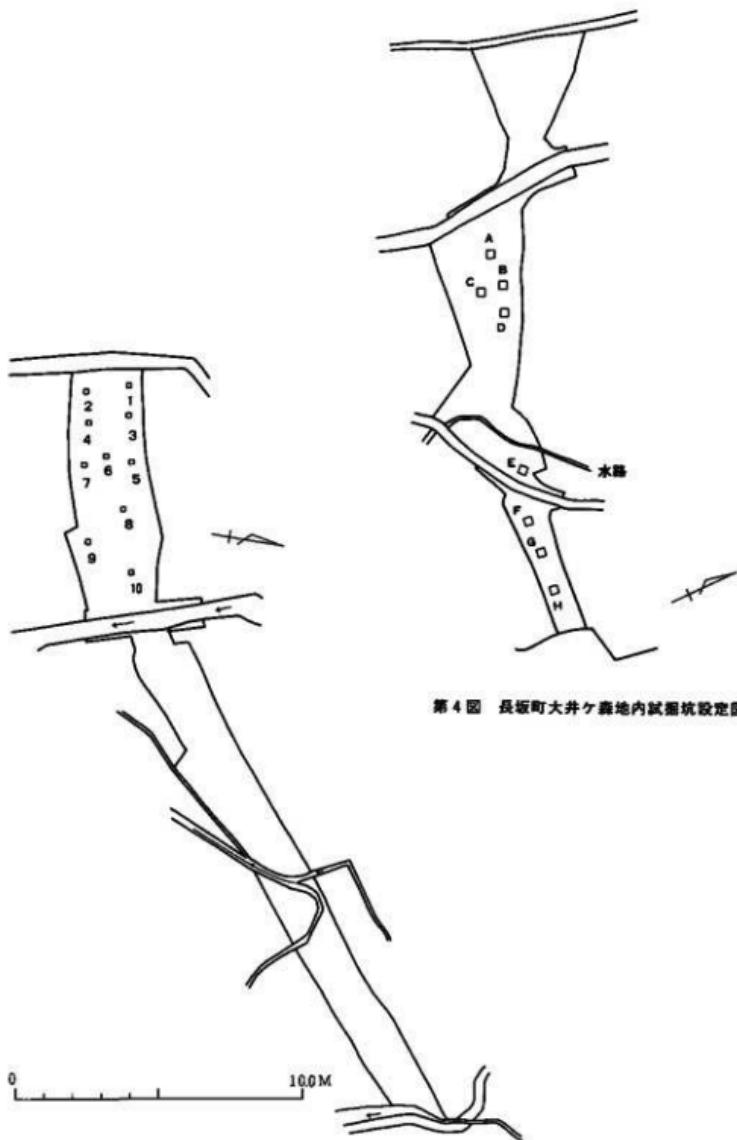
第2図 小淵沢町・大泉村C区土層図

## ② 北巨摩郡長坂町地内

長坂町大井ヶ森地内の諏訪神社の北側山林で古仙川右岸を中心に昨年に引き続いて調査を行った。この試掘対象地は古仙川の右岸で、標高 895 メートルの微高地上と標高 905 メートルの尾根上である。この川は、権現岳と編笠山の間から流下し、小荒間集落の西を通り大井ヶ森の南で長坂町と小瀬沢町の境を流れる女取川と合流して深沢川となる。諏訪神社の境内には武田信玄が信濃攻略の途中に腰掛けたと伝えられる大きな石がある。この伝説が生まれる背景には、八ヶ岳南麓に建設された軍用道路である棒道がここを通っており、大井ヶ森には関所もあったからである。付近は別荘地として分譲されており、古仙川右岸では十数棟の建物が建てられている。神社の北側の尾根上には 4 カ所の試掘坑を設定した。ここでは表土は浅く、その下にはローム層が厚く堆積しており、遺物遺構の検出はなかった。鳩川の右岸の平地には 4 カ所の試掘坑を設定した。ここでは一部ローム層の堆積は見られたが、黒色土が厚く堆積しており、その下は岩盤であった。この黒色土層中からは、縄文時代前期の土器片と黒曜石のトイント、石鏃などが出土した。このため、この鳩川右岸の平地については本調査を実施することとなった。



第3図 長坂町・高根町地内C区土層図

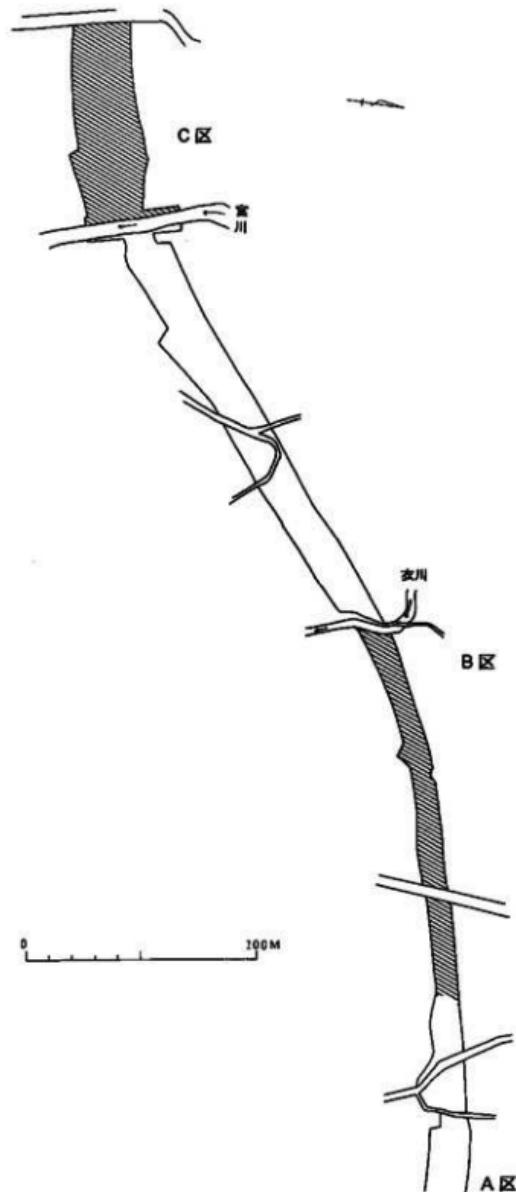


第4図 長坂町大井ヶ森地内試掘坑設定図

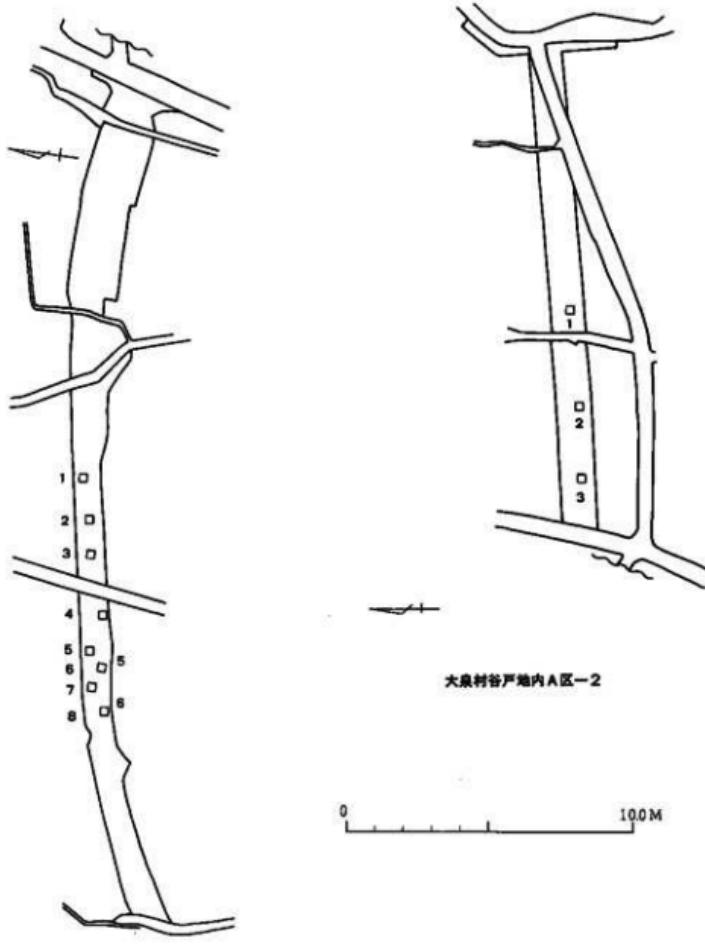
第5図 大泉村谷戸地内試掘坑設定図

### ③ 北巨摩郡大泉村地内

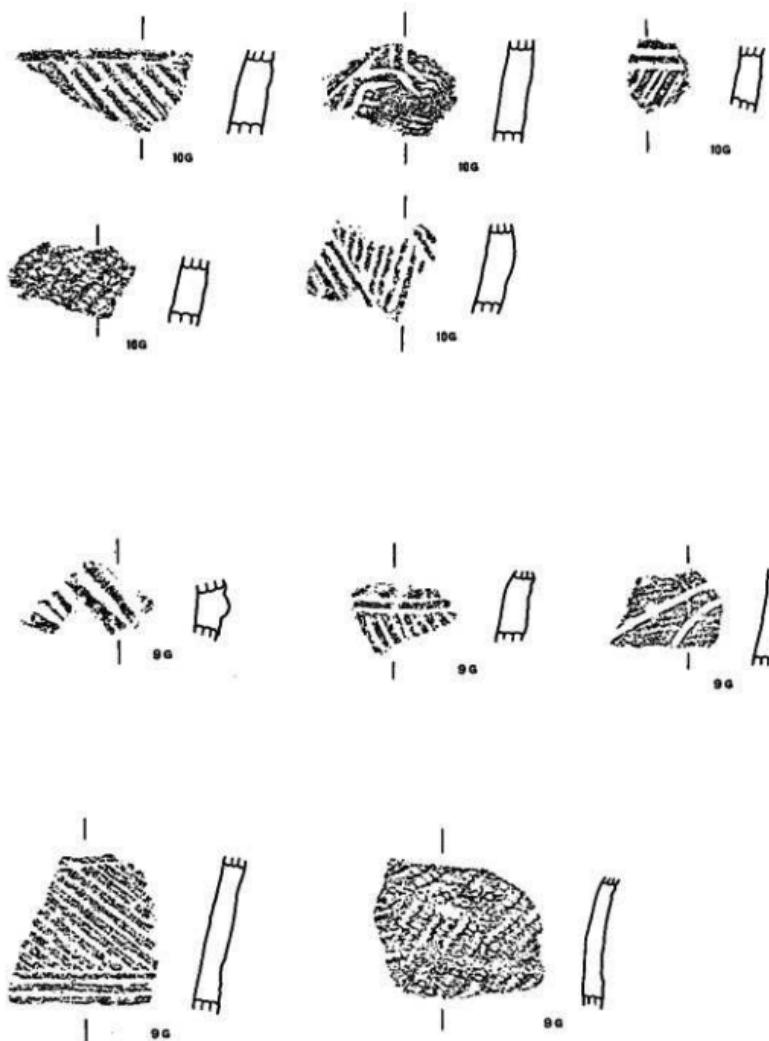
大泉村谷戸地内でも、昨年度に引き続いて調査を行ったが、対象地域は、宮川の西側山林と、東側の耕地であった。この地域には、長坂町大八田にある曹洞宗の古刹である清光寺の前身である信立寺があったが、水害によって現在の地に移ったと言われている。現在でも水田の片すみには五輪塔の一部が点在している。この清光寺の旧地は試掘場所から北に600メートル付近であると伝えられている。調査対象地区的宮川左岸では東側が畑と水田となっているが、上述したように地域伝承では山津波の被害を再三受けているようで、今回の試掘によっても砂利層が厚く検出されており、この伝承内容を確認することができた。この地区では摩滅した土器片が若干出土したが、その時期は平安時代以降であろうと思われる。宮川の右岸の尾根上の山林には、試掘坑を10箇所設定して調査を行った。この場所はすぐ北から別荘地として分譲が行われており、既に10棟前後が建っている。表土は10センチ程度で、この下に褐色土が30センチ程度堆積している。この褐色土から縄文時代中期初頭を中心とする遺物が大量に出土した。このため、この山林は本調査対象地域と判断した。



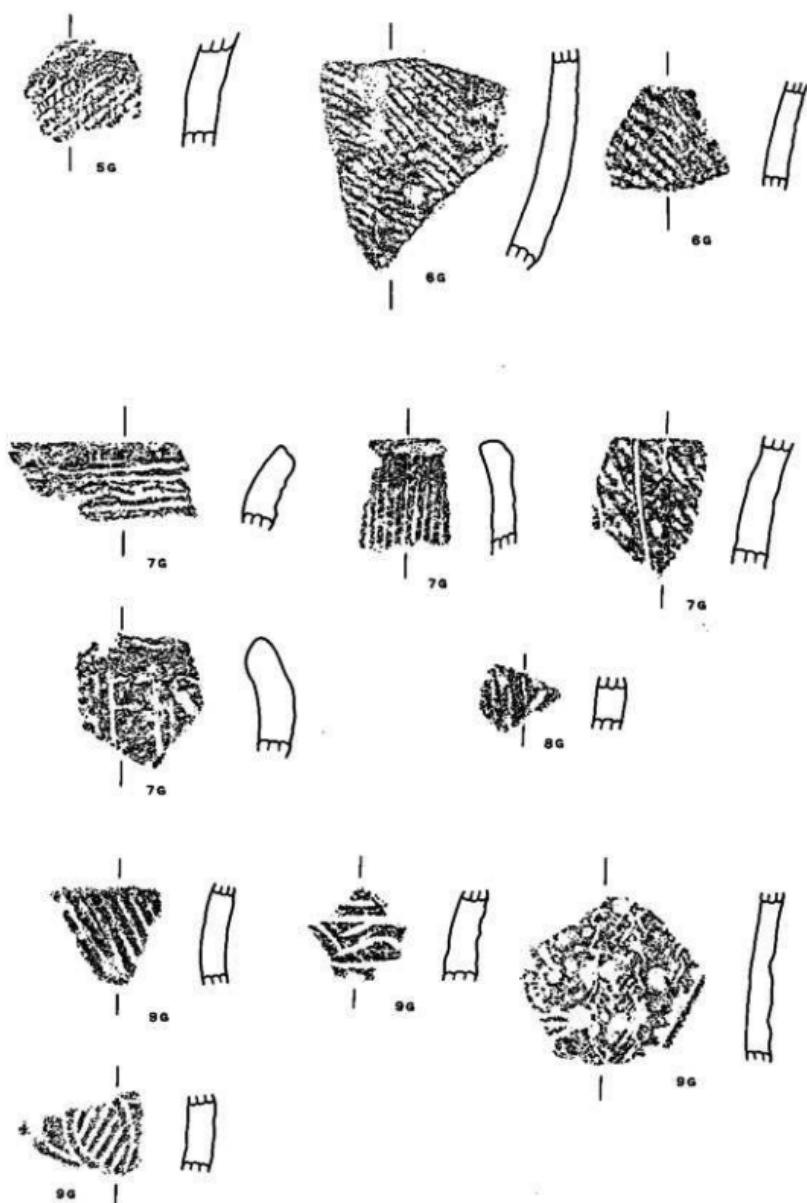
第6図 大泉村地内試掘坑対象地全体図



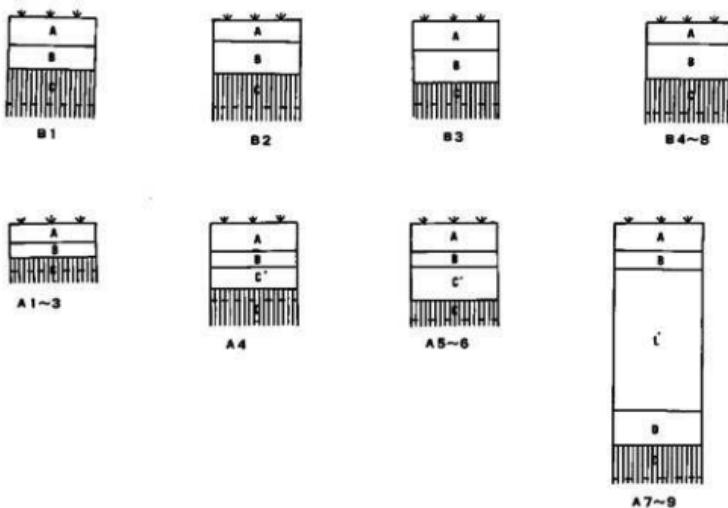
第7図 大泉村谷戸地内試掘坑設定図



第8圖 大泉村地內出土遺物拓本1



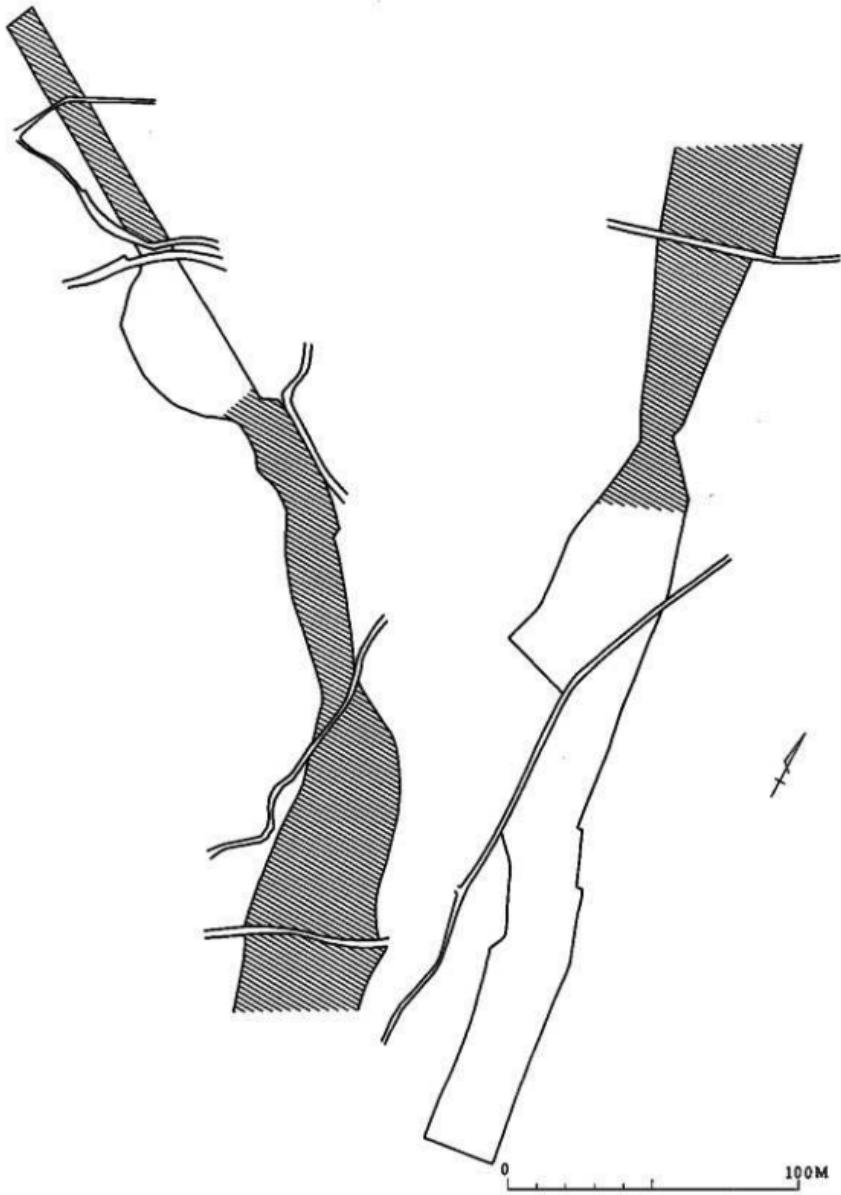
第9図 大泉村地内出土遺物拓本 2



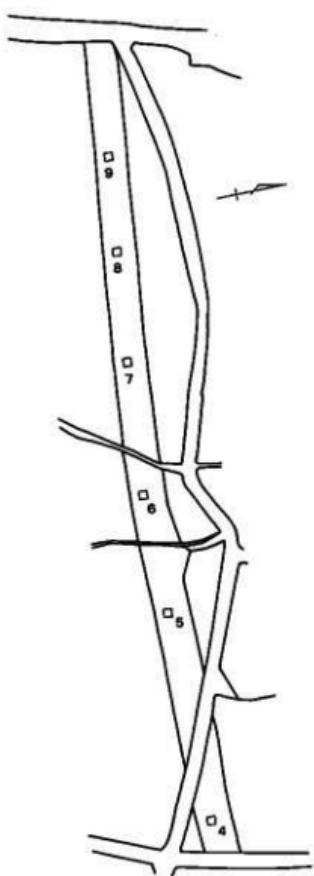
第10図 大衆村地内試掘土層図

#### ④ 北巨摩郡高根町地内

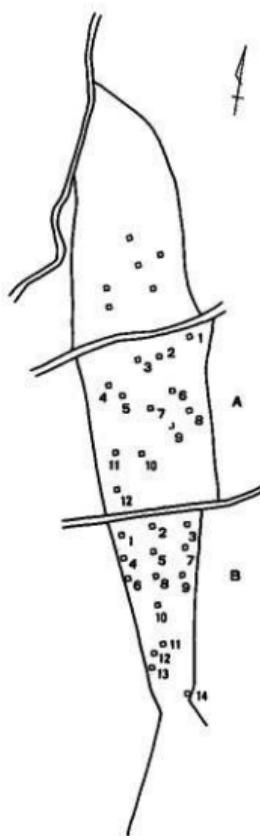
高根町堤地内の山林で昨年に引き続いて試掘調査を実施した。調査対象地は、西に伸びる標高840～815メートルの尾根の中間で、南斜面とその南にある谷までである。この部分は、切り土となるため幅が40メートル以上あるので、試掘坑は東西に3～4箇所づつで全体では27箇所設定した。この調査では、遺物遺構の検出はなかった。表土は数センチから十センチ程度と薄く、この下はソフトローム層が20センチ前後堆積している。その下部には、ハードローム層が厚く堆積している。東側の谷に近付くと黒褐色土が次第に厚く堆積しており、谷の中央部では1メートルを越えている。南斜面の中央よりやや上部には、「馬伏場」と呼ばれている平場があり現在でも堤区の区有地となっている。ここには馬頭観音が3基安置されている。この馬頭観音の南は幅4メートルの平地が東西に長さ20メートル以上伸びている。今回の広域農道建設予定地は、この平地の東側5メートル程かかる程度である。



第11図 高根町地内試験対象地全体図

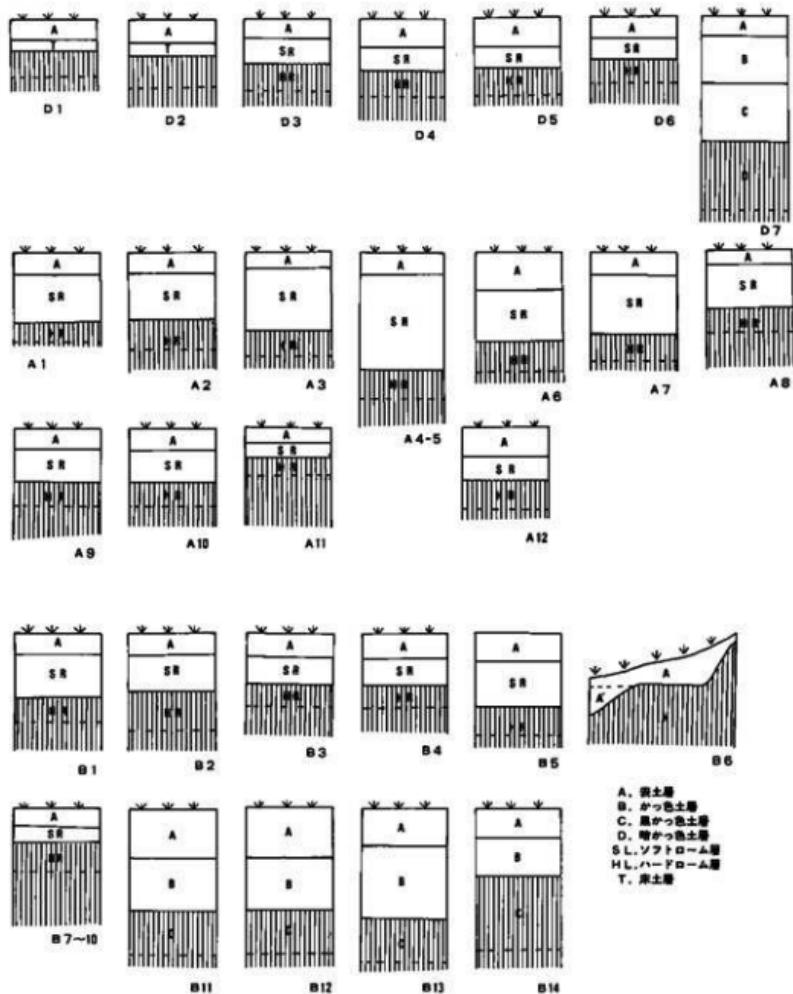


第12図 大泉村谷戸地内A区-1試掘設定図

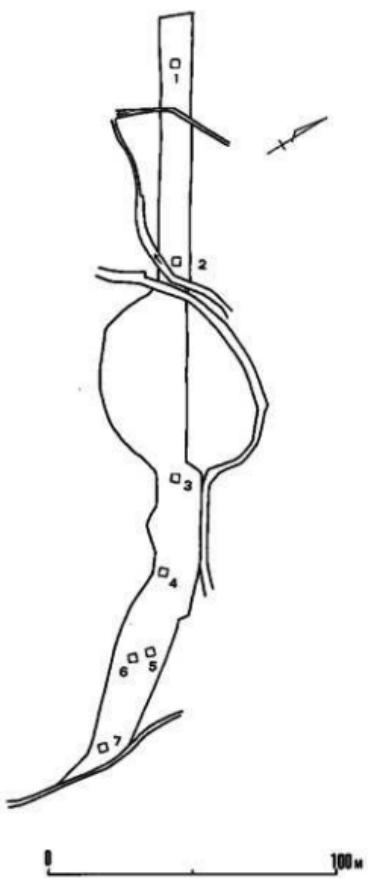


第13図 高根町堤地内A・B・C区試掘坑設定図

0 100M



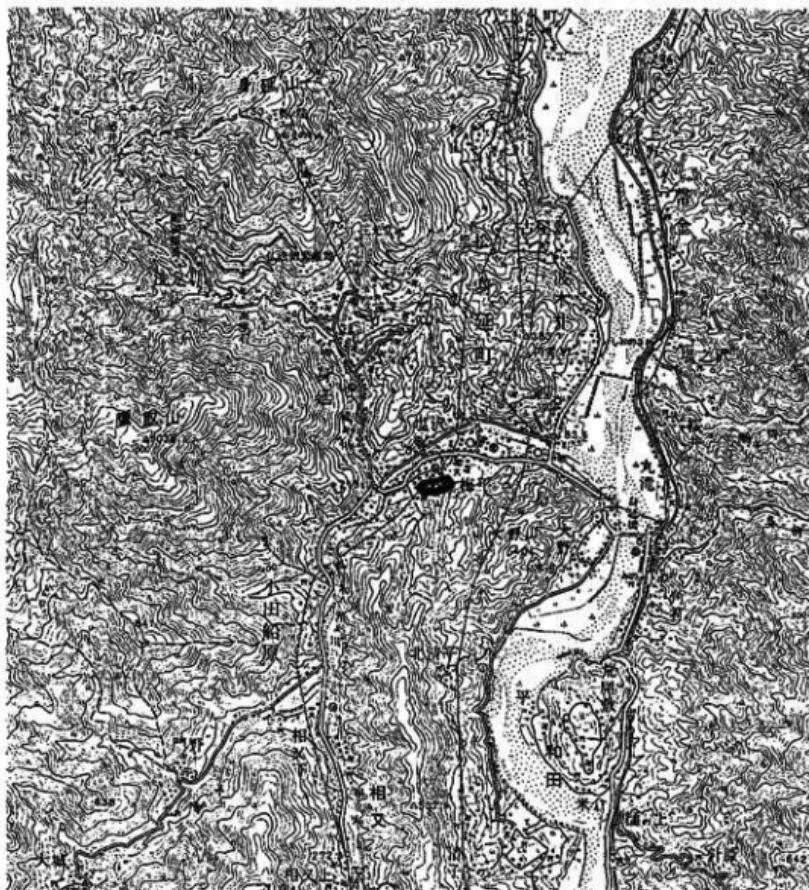
第14図 高根町境内A・B・D区土層図



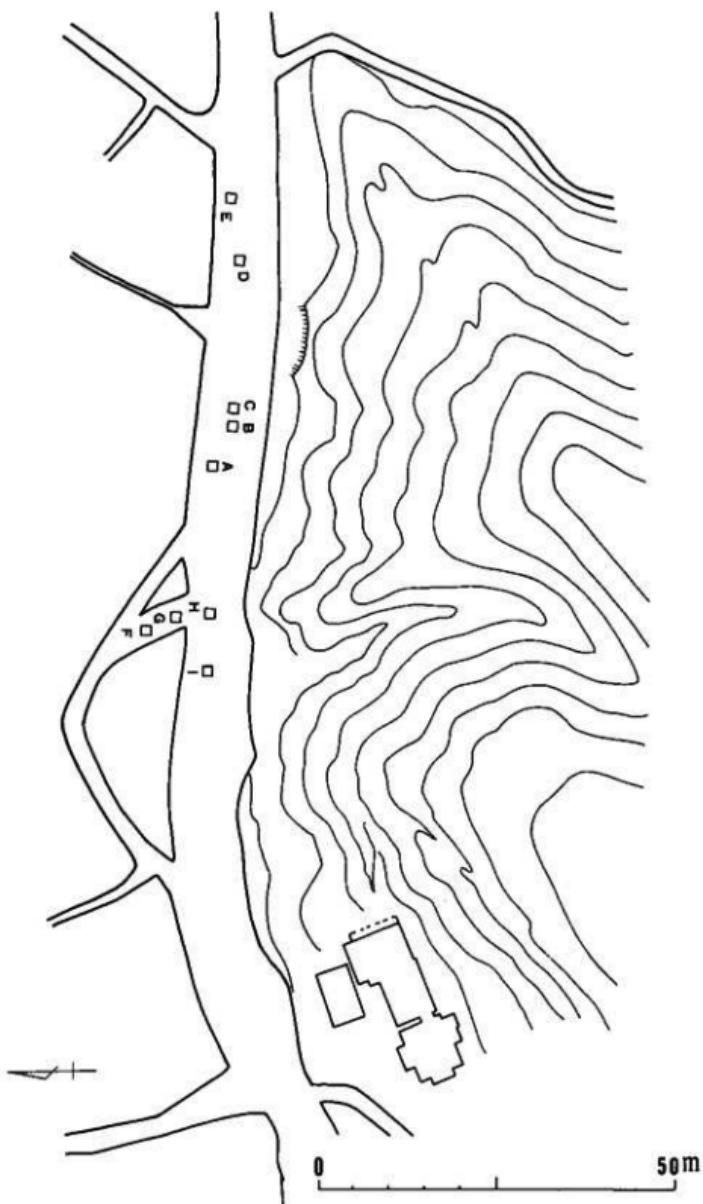
第15図 高根町堤地内D区試験坑設定図

## 2. 身延バイパス建設予定地の試掘調査経緯

南巨摩郡身延町梅平地内の水田と宅地を対象にバイパス路線内の試掘調査を2月に実施した。用地買収が完了している約5,000m<sup>2</sup>を対象として、10箇所の試掘坑を設定した。この建設予定路線の近くには、史跡天然記念物保存法による県指定史跡であった南部氏館跡があり、この土地は現在でも身延町指定史跡である。この史跡は1983年に遺跡の確認調査を町で実施し、平安時代末から鎌倉時代の遺物と掘立柱建物址が検出されている。この場所は、南西斜面の中間にある平坦地であり、計画段階でバイパスルートから外した。



第16図 身延バイパス試掘位置図



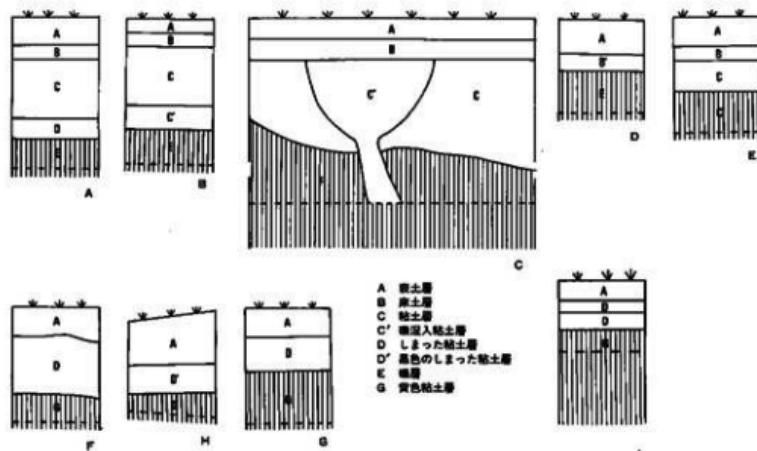
第17図 身延町梅平地内試験坑設定図

## 1 水田の状況

水田の耕作土は浅く10~15cmで床土にあたり、この床土も10cm前後である。この下は疊と粘度が混ざった黄褐色土で、この下は地山と考えられる疊層である。この疊層があるところと、青色粘土層が存在するところとがあり、粘度があるところは、以前は沢であったとも考えられる。

## 2 宅地の状況

表土の厚さは10センチ程度で、その下からは疊層が続いている。遺物遺構の検出はなかった。この部分は周辺より山より一段高く、土砂の流出によって形成された地形である。



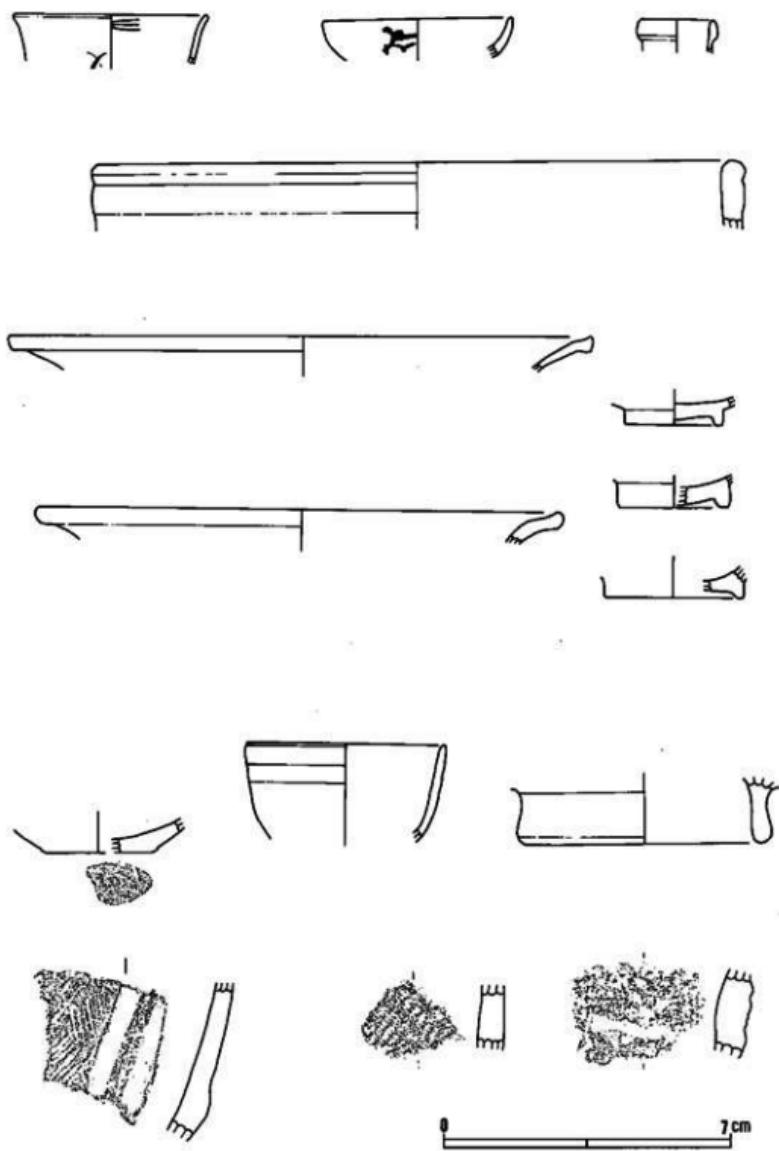
第18図 身延町梅平地内土層図

### 3. 富士川西部広域農道路線予定地内分布調査の経緯

櫛形町から甲西町に至るルートは、南アルプス沿いの台地上に設定されているため、遺跡が多く分布している地域を通過することとなる。そのため、1989年3月に表探調査を実施した。その結果櫛形町中野字宮の前付近の桑畑で縄文時代中期の遺跡が確認された。この表探場所は、標高1,020メートルの城山の東山麓に位置する中野集落の東で、椿城とは堰野川を挟んで南にある。この遺跡は標高422メートル前後の台地上で、大規模な遺跡である。



第19图 富士川西部庄城震源分布调查位置图



第20図 楠形町宮の前道路表探遺物

#### 4. まとめ

今回の試掘調査で確認された遺跡は、八ヶ岳広域農道建設予定地である長坂町大井ヶ森字中込の山林で縄文時代前期の遺跡が確認された。また、大泉村谷戸字富谷の山林で縄文時代中期の遺跡の存在が明らかになった。富士川西部広域農道の路線内では、中巨摩郡梅形町上野字宮の前地内の桑畠で縄文時代中期の遺物の分布が確認された。これらの遺跡は、従来からの分布調査では確認されていない新しいものであり、工事前に本調査が必要である。来年度以降も、八ヶ岳広域農道と富士川西部広域農道の路線内及び、身延バイパスの予定地の試掘調査は継続する必要がある。



小淵沢町地内試掘風景



小淵沢町内試掘坑



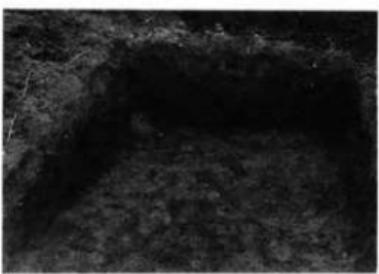
長坂町内試掘風景



長坂町内試掘風景



同 上



長坂町内試掘坑

写真図版1 小淵沢町・長坂町内



大泉村谷戸地内



大泉村谷戸地内出土遺物



高根町堤地内馬ふせ場



大泉村谷戸地内出土遺物



同上

写真図版2 大泉村・高根町地内



高根町堤地内全景



堤地内馬頭観音 A



堤地内作業風景



堤地内馬頭観音 B



堤地内試掘坑



堤地内試掘坑



身延バイパス試掘予定地



身延バイパス試掘風景



E 坑



C 坑



A 坑



B 坑

写真図版 4 身延町地内



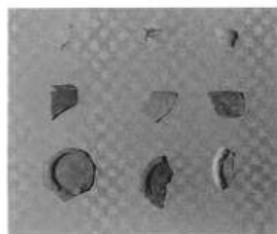
身延町地内試掘風景



試掘坑 I



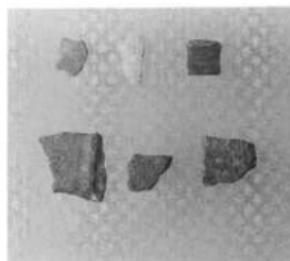
試掘坑 II



梅形町宮の前遺跡遺物



宮の前遺跡遠景



梅形町宮の前遺跡遺物

山梨県埋蔵文化財センター調査報告 第47集

八ヶ岳東南麓他  
遺跡分布調査報告書

1989年3月25日 印刷

1989年3月31日 発行

編集 山梨県埋蔵文化財センター  
山梨県東八代郡中道町下曾根923

TEL 0552-66-3881

発行 山梨県教育委員会

印刷 (有)新星堂印刷

